

# 協創ルーブリック

広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校

2021.11.1

## 「4つの力」を育てるための「協創ルーブリック」

本校では、「グローバル・イノベーション・リーダー」（地球的な視野で考えて、地域社会と協創する人材）の育成を教育目標としています。その達成のために下記の「4つの力」の獲得と実践を目指しています。

- 探究型学力
- 協創する力
- 社会参画する力
- 自己実現する力



そこで、日々の教育活動の中でこの4つの力を意識できるように、本校では「協創ルーブリック」を作成しました。ルーブリックとは、学習等の活動到達度を測る評価基準を表として示したものです。本校の「協創ルーブリック」は、本校の日々の教育活動における4つの力に対するさまざまな到達度を測るものです。このルーブリックを通じて、生徒一人ひとりが自らの成長度をふりかえることができます。自分の成長が見える化することは、次なる挑戦・取り組みへのステップとなり、4つの力を育むことにつながっていきます。

このような機会を通して、常に4つの力を意識しふりかえることで、グローバル・イノベーション・リーダーを目指します。

大項目	評価項目	評価基準				
		S	A	B	C	D
探究型学力	観る力 (情報収集・分析する力)	課題に対して、必要な情報を集めることができる。また、集めた情報について、他者の意見を取り入れ、比較・分類し、課題解決に役立つカタチにすることができる。	課題に対して、必要な情報を集めることができる。また、集めた情報について、他者の意見を取り入れながら、比較・分類することができる。	課題に対して、必要な情報を集めることができる。また、集めた情報について、他者の意見を取り入れ、比較することができる。	課題に対して、たくさんの情報から取捨選択したり、見通しを持ったりして、必要な情報を集めることができる。	課題に対して主体的に情報収集しようとしている。
	問う力 (課題発見する力)	広い視野や複数の情報をもとに多面的に課題を捉え、その原因や理由について明確に述べ、問うことにふさわしい課題を設定することができる。	広い視野や複数の情報をもとに多面的に課題を捉え、その原因や理由について明確に述べることができる。	初発の見出した課題とは異なる視点で、課題を見出すことができる。	見出した課題に対して、その原因や理由について述べることができる。	示された事象に何かしらの課題を見出すことができる。
	描く力 (表現、プレゼンテーション、協働的に学びに向かう力)	具体的なデータや事例をもとに、熱意や思いを込めて理解を得られる発信ができる。文化の違いや言語の壁を越えて目的を達成するための具体的な行動を起こすことができる。	プレゼンテーションツールを利用して具体的なデータや事例を紹介しながら自分の意見や考えを示すことができる。グループの中で他者の個性を認め、お互いの長所を引き出しながら目的を達成することができる。	iPad やポスターなどのツールを使用し、自分の意見や考えを相手に伝えることができる。グループやクラスの中で他者の個性を理解し、目的の達成に向けて行動することができる。	グループやクラスで自分の意見や考えを相手に伝えるように表現することができる。ペアやグループの中で自分の役割を見つけて行動することができる。	自分の意見や考えをペアやグループで話すことができる。ペアやグループで与えられた課題に取り組むことができる。

大項目	評価項目	評価基準				
		S	A	B	C	D
協創する力	他者と関わる力	複数のグループから出された考え・意見を統合集約し、自らの考え・意見をそれらと照らし合わせて再構築することができる。そして、他者と協力し、信頼関係を築いたり結束力を高めたりすることができる。	グループ内で出された意見を集約・統合して発表し、他のグループと意見交換することができる。	グループの中で自らの考えや意見を表明し、他者の考えや意見を聞いたうえでグループの考え、意見として統合していくことができる。	他者に自らの考えや意見を表明するとともに、他者の考えや意見を取り入れ、自分の考えや意見をまとめることができる。	他者に自らの考えや意見を表明できる。
	新たな価値観を見いだす力	様々な価値観を正しく理解した上で、新しい価値観を見だし、他者からの共感を得られることができる。	様々な価値観を正しく理解した上で、新しい価値観を見出すことができる。	異なる世代の他者が持つ様々な価値観を正しく理解することができる。	同世代の他者が持つ様々な価値観を正しく理解することができる。	自分の持っている価値観を正しく理解することができる。
	多面的、多角的に考える力	様々な視点から考え、発信されたものを自分の意見に統合できる。また、新しい視点で他者と協力して考え、発信するサイクルを日常的に行うことができる。	様々な視点と比較することで、自分とは異なる新しい視点から他者と協力して考えたことを自分の意見に統合し、発信することができる。	様々な視点と比較することで、自分とは異なる新しい視点から他者と協力して考えることができる。	自分が決めた視点をもとに他者の視点と比較して物事を考えることができる。	自分が決めた視点をもとに物事を考えることができる。

大項目	評価項目	評価基準				
		S	A	B	C	D
社会参画する力	社会を理解する力	社会を支える当事者として、社会が抱える問題についてさらにどのような問題があるか調べ、他者が理解できるように自分の意見としてまとめることができる。	自分と社会のつながりに気づき、社会が抱える課題に問題意識を持って調べ、他者と議論することができる。	自分と社会のつながりに気づき、社会が抱える課題に問題意識を持って調べることができる	自分と社会のつながりに気づき、社会が抱える課題を発見することができる。	自分と社会のつながりに気づいている。
	社会をより良くする方法を考え、発信する力	社会を支える当事者として、より良い社会の具体的なイメージを他者と共有し、実現する方法を発信し、実行することができる。	より良い社会の具体的なイメージを他者と共有し、実現する方法を発信することができる。	より良い社会の具体的なイメージを他者と共有し、実現する方法を考えることができる。	より良い社会の具体的なイメージを他者と共有することができる。	より良い社会を具体的にイメージすることができる。
	社会に貢献する力	社会を支える当事者として、自分の役割を理解し、他者と協働的に貢献し、より良い未来を創造することができる	社会に貢献する意欲があり、自分の役割を理解し、他者と協働的に貢献することができる。	社会に貢献する意欲があり、自分の役割を理解し、主体的に貢献することができる。	社会に貢献する意欲があり、自分の役割を理解できる。	社会に貢献する意欲がある。

大項目	評価項目	評価基準				
		S	A	B	C	D
自己実現する力	自己理解する力	自分自身に関する客観的なデータや他者との関わりの中で自己分析を通して、個性を理解し、自分の言葉で表現し、自身の行動をより良いものにすることができる。	自分自身に関する客観的なデータや他者との関わりの中で自己分析を通して、個性を理解し、自分の言葉で表現することができる。	自分自身に関する客観的なデータや他者との関わりの中で自己分析を通して、自分の個性を理解することができる。	自分自身に関する客観的なデータや他者との関わりの中で自分の個性を理解することができる。	自分の個性（資質能力、興味関心、得意なこと）を理解している。
	高みを目指して自律する力	自己の能力と目標達成までに克服しなければならない課題を適切に把握し、常に課題達成のため実践することを習慣化できる。	自己の能力を適切に把握し将来の目的を見据えたうえで自らが達成すべき課題を細分化し着実に目標達成のために実践することができる。	将来の目的を見据えたうえで自らが達成すべき課題を設定し、目標を定めて実際に行動することができる。	将来の目的を見据えたうえで自らが達成すべき課題を見極め、目標を定めることができる。	自らの現状を理解している。
	継続的に経験を積み重ねる力	人が経験によって成長するものであることを理解し、継続的に経験を積み重ねようとする意欲を持ち、実践することができる。	人が経験によって成長するものであることを理解し、経験を積み重ねようとする意欲を持ち、実践することができる。	人が経験によって成長するものであることを理解し、経験を積み重ねようとする意欲を持つことができる。	様々な人々が経験によって成長してきたことを理解できる。	自分が経験によって成長してきたことを理解できる。